

年始休み明けに年中・年長さんが書初めをしました。鉛筆で字を書くことはあっても、筆を使って書くことがない子どもたち。震える手で恐る恐る書く子や、大胆に筆をおろす子など様々でしたが、今しか書けない素晴らしい書が完成しました。



福笑いでは、目隠しをしていてもどこか見える所はないだろうか、顔を傾けたりしながら完成させ、目隠しをはずして出来上がった顔を見て、みんなで大笑をしたり、ガッツポーズをしたり！



段ボールで羽子板を、ペットボトルの飲み口で羽を作り、羽つきも楽しみました。初めての羽つきで最高3回位しか続かなかったけれど、何度も挑戦し挑む姿はとても勇敢でした。

おりがみで十二支を折ったり、凧あげ、かるた取りなどたくさんのお正月遊びを経験することができました。昔ながらの遊びもこうして残していけるといいなと思います。

「今日も大縄跳びしよう！」と毎日元気いっぱい園庭に飛び出す子どもたち。「昨日よりいっぱい跳びたい！」「今日は二十回跳ぶぞ！」とそれぞれの目標をもち、取り組んでいます。友達の頑張る姿を一生懸命応援したり、刺激を受けたりしながらやってみようとする姿や、



縄に引っかかっても諦めず何度も挑戦する姿からは、自分なりの目標に向かい、達成しようと取り組む前向きで強い気持ちが伝わってきます。

これからも子どもたちの心と体の成長のため、一人ひとりの思いに寄り添い「やってみよう！」とする意欲を支えていこうと思います。

私は本州四国連絡高速道路株式会社坂出管理センターで2日間職場体験をさせていただきました。特に印象的だったのは瀬戸大橋への塔頂体験です。一番高い所に登って瀬戸内海を眺めたり、点検車両に乗り、目視でねじの緩み等を点検したりしました。体験を通して、瀬戸大橋を技術で支える人、魅力を発信する人、安全を守る人など、様々な役割があることを知りました。

自分が体験した仕事は世の中のほんの一部にすぎないけれど、たくさんの学びと発見がありました。日々の全てに感謝し、貴重な体験を生かし、今後もたくさんのことにチャレンジして自分を成長させていきたいです。

